

米子自衛防火協会

平成22年8月

第59号

会報

米子自衛防火協会事務局

米子市両三柳 5452 番地
鳥取県西部広域行政管理組合消防局予防課内
TEL0859-35-1970

用紙提供 王子製紙株式会社
印刷所 東京印刷株式会社



会長就任挨拶

米子自衛防火協会 会長

加来正年

会員の皆様方には、平素から当協会の運営につきまして格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私はこのたび米子自衛防火協会の会長に就任いたしました王子製紙(株)米子工場の加来でございます。林会長の後任として今年4月にこの地に赴任して参りましたが、入社した最初の配属先がここ米子工場でしたので、この地には大変馴染みがございます。

しかしながら、内田副会長始め地元の方で適任者が大勢おられる中、私がお引き受けするのはいささか僣越ではございますが、他市において防火協会の会長を務めて参りました経験を活かし、誠心誠意、当協会の発展のため会長職を努めて参りたいと存じますので、今後ともご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

近年の災害状況を見ますと、グループホームなど高齢者を対象とした施設や個室ビデオ店・カラオケ店などの小規模建物において一度に多くの人が犠牲になる火災が増えております。

また、地震や集中豪雨などの自然災害も多発しており、昨年、死者19名を出した山口県防府市の特別老人ホームにおける土石流災害はまだ記憶に新しく、今年になっても梅雨前線の停滞により各地で土石流災害や浸水などの被害が相次ぎ、多くの死者、行方不明者が出ております。お隣の松江市でも裏山が崩れ幼い子供を含む尊い2人の命が失われました。

このような状況から、火災のみならず、地震や集中豪雨などの自然災害に対する未然防止あるいは被害軽減のためにも自主防災体制の確保が必要と考えます。そのためには、防災関係機関・各種団体等からの幅広いご協力を賜るとともに、会員相互の親密な連携のもとに自主防災体制の充実を図り「安全で住みよい地域づくり」を積極的に推進して参りたいと思っております。

ところで、ここ西部消防局管内における昨年の火災概況を見ますと、大規模な火災はなく、発生件数は100件と4年連続減少しております。また、今年上半年の火災件数につきましても、昨年と比べ半数近く減少いたしました。しかし、相変わらず建物火災の比率は高く、このたびも逃げ遅れにより尊い命が犠牲になりました。このような不幸な事態を防ぐためにも、住宅用火災警報器の早期設置が急務と考えます。

当協会においても、警報器の義務化まで残り1年を切った今、新たな試みとして住宅用火災警報器の相談・紹介窓口としての活動を防火協力事業に取り入れることにいたしました。この取り組みにより警報器の設置率が向上し、住民の命と財産を守ることに繋がることがを切に願っております。

終わりになりますが、会員並びに関係当局の皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

「消したかな」あなたを守る 合言葉

2010年度 全国統一防火標語

(敬称略)

区分	事業所	代表者
会長	王子製紙(株)米子工場	加来 正年
副会長	(株)米吾	内田健二郎
〃	(株)米子青果	上田 博久
〃	(株)米子高島屋	徳千代眞史
理事	JR西日本米子支社	石本 修
〃	(株)皆生グランドホテル	伊坂 博
〃	(株)米子マツダ	吹野 正和
〃	医療法人同愛会博愛病院	村上 一平
〃	実成寺	山崎 恵弘
〃	(株)山陰放送	坂口 吉平
〃	中国電力(株)米子営業所	加納 利浩
〃	日ノ丸自動車(株)米子支店	細田 正人
〃	社会福祉法人米子福祉会	田口 立身
〃	米子市立小学校校長会	廣川 健昭
〃	米子市立中学校校長会	田中 義雄
〃	鳥取県立高等学校西部地区校長会	小鉄 治人
〃	日本通運(株)米子支店	河合 純樹
〃	東京印刷(株)	杉原弘一郎
〃	大山旅館組合	山根 均
監事	(株)山陰合同銀行米子支店	中ノ森寿昭
〃	米子商工会議所	村田 整

(平成22年6月4日現在)

第43回定期総会

～役員改選～



平成22年6月4日(金)に開催された第43回定期総会において、平成21年度事業・決算報告並びに平成22年度事業計画・予算案が審議され、いずれも原案どおり承認されました。

また、同日行われた任期満了に伴う役員改選の結果、会長に加来正年氏(新任)、副会長に徳千代眞史氏(新任)、内田健二郎氏(再任)、上田博久氏(再任)の就任が決まりました。

新役員は左記のとおりです。

住宅用火災警報器の共同購入について

すべての住宅を対象とした住宅用火災警報器の設置の義務化まで残り1年を切りましたが、鳥取県内の普及率は27.7%で全国44位(5月末現在)と非常に低い状況です。

当協会においても、これまで地域の防火安全推進のために住宅用火災警報器の普及啓発活動に努めて参りましたが、なかなか普及率の向上には至っておりません。

設置していない理由を聞くと、「義務化は知っているが費用負担が大きい」、「自分で設置が難しい」、「購入方法が不明」などの理由で設置していない家庭がおよそ半数を占めています。

このことを踏まえ、今後は当協会において、住宅用火災警報器の販売店の紹介並びに事業所や自治会等の共同購入における販売店への取次など、住宅用火災警報器の購入に関する相談窓口を設けることに致しました。

住宅用火災警報器の購入に関すること、また、手配に困っておられる方はお気軽にご相談ください。

◎住宅用警報器の設置期限は 平成23年5月31日です

※国の基準に適合しない住宅用火災警報器等は購入しないようにしましょう。

(日本消防検定協会の鑑定品には「鑑定マーク」がついています。製品を購入される際の目安としてください。)



平成22年上半期 西部消防局管内における火災・救急概況

1. 火災概況

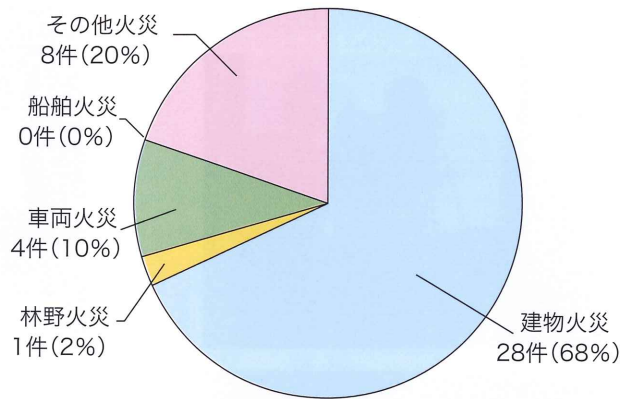
本年上半期の火災件数は41件で、前年に比べ22件少なくなっています。これは、建物火災が5件、その他火災（枯れ草火災などの火災）が14件、林野火災が3件減少したことによるものです。

火災原因については、「こんろ」が6件と最も多く、次いで「放火（疑いを含む）」が5件、「たき火」が5件となっています。

死者は1人、負傷者は10人となっており、死者、負傷者ともに65歳以上の高齢者の割合が高く、高齢化の進展とともにさらに増加していく恐れがあります。

今後の取り組みとして、自治会等と連携し住宅用火災警報器の設置促進活動を含めた住宅防火の推進が重要と考えます。

【火災種別ごとの件数と構成比率】



2. 救急概況

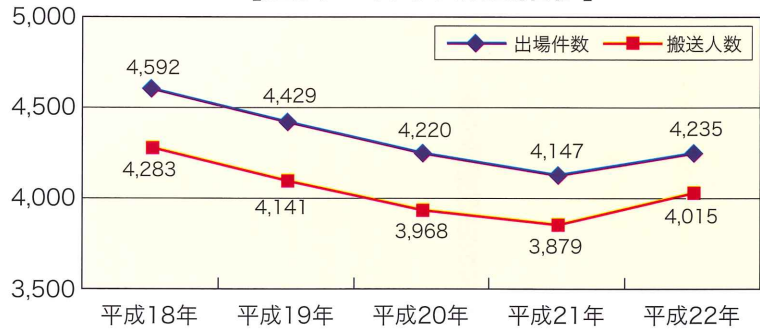
救急出動件数は4,235件で前年に比べ88件、救急搬送人員は4,015名で136名の増加となり、4年ぶりの増加となっています。

事故種別で見ますと、急病が半数以上を占め、次いで転院搬送、一般負傷、交通事故の順となっています。

年齢別で見ますと、65歳以上の高齢者が搬送される件数が年々増加しています。今後、少子高齢化に伴い更に高齢者が占める割合が増加することが予測されます。

心肺停止傷病者に対するの応急手当の割合がわずかながら減少しております。救急現場での早期の応急手当が救命のチャンスを拡大します。

【過去5年間の救急推移】



これは平成22年度の「宝くじ助成事業」により財団法人日本消防協会から寄贈いただきました。



(煙体験ハウス)



(煙発生装置)

煙の怖さは体験して初めて分かります！
鳥取県西部広域行政管理組合消防局では煙体験ハウスを活用した防災啓発活動を積極的に推進しています。学校で子供たちへの体験訓練として、市町村での防災訓練のイベントとして、ぜひご利用下さい。

煙の怖さが体験できる！

新入社員防災研修会を開催

平成22年6月24日、西部消防局において協会事業所の新入社員を対象とした防災研修会が開催されました。

前日までの梅雨空を払拭したかのような青空の下、各事業所から101名の新入社員が参加し、消火器及び消火栓を使った消火訓練、並びに煙の迷路や救助袋による避難訓練を体験しました。

消火栓や避難器具を見たことはあっても実際に使うのは初めてという人が多く、高所から降りる救助袋や屋内消火栓の水圧の強さに驚いておられました。一度経験したことにより、いざという時にパニックにならず避難や操作ができるのではないのでしょうか。

これからもそれぞれの職場において経験を積んでもらい、自社のみでなく地域の安全のために努めていただきたいと思います。



屋内消火栓



救助袋



煙迷路



水消火器

講習会情報

◆防火管理新規講習

甲種(第2回) 平成22年9月15日(水)～16日(木)

受付期間 8月23日～9月10日

甲種(第3回)

平成22年11月24日(水)～25日(木)

受付期間 11月2日～11月18日

甲種(第4回)

平成23年3月16日(水)～17日(木)

受付期間 平成23年2月22日～3月10日

講習場所…鳥取県西部広域行政管理

組合消防局

申請先…同右

◆消防設備士講習

消火設備 平成22年10月5日(火)

受付期間 8月2日～9月2日

警報設備

平成22年10月6日(水)

受付期間 8月2日～9月2日

避難設備・消火器

平成22年10月7日(木)

受付期間 8月2日～9月2日

講習場所…鳥取県立倉吉体育文化会館

申請先…鳥取県消防設備保守協会

◆危険物取扱者試験準備講習会

乙種(第2回)

平成22年10月6日(水)～8日(金)

受付期間 9月3日～9月24日

丙種(第2回)

平成22年10月12日(火)

受付期間 9月3日～9月24日

※試験日…平成22年10月31日(日)

乙種(第3回)

先進地視察研修のご案内

今年度の視察研修を左記のとおり開催致します。皆様ご参加ください。

記

○開催日 平成22年9月3日(金)～4日(土) 1泊2日

○視察先 (株)モリタ三田工場

大阪ガス・ガス科学館

○参加費 2万円

(交通費・宿泊費・食事代等含む)

○その他 奈良の平城遷都1300

年祭や興福寺の観光もいたし

ます。

※詳しい行程については、協会のホームページをご覧ください。

お知らせ

今年度より協会専用の電話を設置いたしました。また、ホームページも開設しておりますのでご覧ください。

(協会専用番号)

TEL:0859-35-1970

E-mail:jieibouka@yonago-kyoukai.sakura.ne.jp

http://www.yonago-jieibouka.jp/